

# 令和6年度 生徒心得

## 1 登校時間について

- ・8時15分までに生徒昇降口を通過し、8時20分までに教室に着席し、チャイムで朝の会を行う。

## 2 届出および許可について

- ・欠席・遅刻・早退・忌引などについては、当日朝に保護者から学校へ連絡をしてもらう。

## 3 制服について

- ・標準型を使用し、正しく着用すること。変形したものや不自然に加工した物は着用しない。  
〈例〉カッターシャツは外に出さず、ベルトが見えるようにズボンの中に入れる。
- ・気温が低い場合は、防寒着を着用することができる。
- ・冬服の下のトレーナー類は目立たないものを使用し、制服から出ないようにする。  
〈例〉無地の白、黒、紺、茶、グレーなどで、タートルやパーカー類は着用しない。
- ・手袋、ネックウォーマーは登下校時のみ着用することができる。昇降口で外し、室内ではつけないようにする。(マフラーは不可)
- ・夏用、冬用制服の着用期間については、各自で判断する。

## 4 頭髪等について

- ・学習の場に適した髪型にする。

補足：制服が濡れるのを防止するため、水泳後の必要な場合は、団子結びすることができる。

- 〈例〉 ○ ツーブロックにする場合は、眉の高さより低い位置で、刈り込んだ部分が見えないようにするなど、一部を目立たせるような髪型にはしない。  
○ 前髪は目にかからないようにし、後ろ髪は肩に触れる場合は後ろで結び、横結びや編み込みなどはしない。
- ・ヘアピンやゴムは少ない本数で目立たないものにする。(ヘアゴムは、黒・紺・茶の単色、ヘアピンは、過度に大きいものは避け、黒色で装飾なしのものを使用する。)
- ・ヘアバンドやリボンなどは使用しない。
- ・脱色、染色、パーマや眉そり、眉抜きなど色や形を変えるような加工はしない。

## 5 シャツについて

- ・アンダーウェアの色は、目立たないものを使用する。

〈例〉白、黒、紺、茶、グレーなどの無地

## 6 通学靴兼運動靴について

- ・体育の授業で使えるひもつき運動靴(全面白色または黒色)を使用する。(ハイカット不可)

## 7. 上履きについて

- ・学年色のスリッパを使用し、上から見える場所とかかとの部分に、黒の油性ペンで姓のみを明記する。

## 8. カバンやサブバッグについて

- ・カバン(背負い式)、サブバッグを使用する。
- ・加工したり、不要な装飾品を付けない。

## 9. くつ下類について

- ・くるぶしが隠れる長さからスクールソックスと同等の長さまでの白色、黒色、紺色無地の靴下を使用する。デザインはワンポイント(学校オリジナルソックスに準ずる大きさ)までとする。
- ・タイツは、黒・紺を使用する。(レースや飾りのあるものは使用しない。)

## 10. その他について

- ・学校生活に関係のない物(物品及び飲食物等)は持ってこない。
- ・名札は学年色とし、左胸に付ける。
- ・整髪料や化粧品類は使用しない。
- ・ベルトは黒の単色無地のものを使用する。  
(幅が極端に広いものや細いもの、メッシュや金属類の飾りを含むもの、ベルト穴が複数列のもの、バックルの形や大きさが極端なものなどは不可)
- ・ピアス、ミサンガなどはしない。
- ・日焼け止めクリームは、周りの人や授業に迷惑がかからないように使用してもよい。ただし、個人で責任を持って管理する。
- ・個別に対応することもあるので、何かあれば相談をする。